

BP
business partner

日本HPの製品情報をお届けするセールスノウハウマガジン

Navigator

HP LIMITED EDITION



2025 Autumn

特集

HPの次世代AI PC／Copilot+ PCがさらに充実。
ラインアップが出そろった
HP EliteBookに要注目!

Presented by **Otsuka Corporation**

HPの次世代AI PC / Copilot+ PCがさらに充実。 ラインアップが出そろった HP EliteBookに要注目!



株式会社 日本HP
パーソナルシステムズ事業本部
クライアントビジネス本部 CMIT製品部長 岡 宣明氏

AI PC、Copilot+ PCと名称については複数あるが、いずれもNPUを持ったプロセッサを搭載し、来たるべきAI活用時代にマッチしたパフォーマンスを提供できるPCの総称として使われているものだ。HPでは当初からNPU搭載プロセッサを採用したモデルを発表してきたが、今回、最新の「インテル® Core™ Ultraプロセッサ(シリーズ2)」を採用したHP EliteBookシリーズのラインアップが出そろったことになった。フラッグシップの「HP EliteBook X G1i 14 AI PC」に加えどのようなモデルが発表されたのか、最新AI事情と共に紹介したいと思う。

なぜ次世代AI PC / Copilot+ PCが 求められているのか

編集部:HPのEliteBookシリーズの次世代AI PC/Copilot+ PC対応モデルとして「HP EliteBook X G1i 14 AI PC」が先んじてリリースされました。今回はさらにそのラインアップが充実したというお話しですが、その前になぜ次世代AI PC / Copilot+ PCと呼ばれるモデルが求められているのか改めて教えてください。

HP岡氏:生成AI活用については2024年後半ぐらいから急激に需要が伸びました。当時は主にコンシューマ向けのサービスでしたが、驚くべき精度と生産性を見てビジネスでもこれを活用しようという企業が出てきたのは実に自然な流れでした。

一方で、当時の生成AIのほとんどはクラウドサービスとして提供されていたため、企業が生成AIを使おうとすると、社内の機密情報を含むプロンプトを入力することで、それらの情報がクラウド上に一時的にアップロードされてしまう可能性がありました。もちろん、サービス提供者はそれらの情報を開示・再利用しないとしていますが、インターネット上のことなので不安を持つ企業が出てきてしまうのもやむを得ないことでしょう。

そのような中、2025年初頭あたりか

ら注目されるようになったのがローカルSLM/LLMです。いわゆる「小規模言語モデル(Small Language Model)/大規模言語モデル(Large Language Model)」で、これらを利用して社内の閉じたネットワーク内だけで生成AIを使おうという流れになります。機密情報が外部に漏れることなく、生成AIを効率的に使うことができるテクノロジーとして、現在最も注目されているソリューションです。

もちろん、ローカルSLM/LLMを今すぐ導入しようという企業はまだそれほどありませんが、実証実験を始めるケースや、既に運用フェーズに入っている企業は増加の一途をたどっています。

企業のほとんどはPCの機種入れ替えを3~5年ごとに行うと思います。つまり、今はやっていなくても来年はやるかもしれない。2年後にはフル活用していることも想定しなくてはならないといった先読みによるニーズも加わって、このタイミングから次世代AI PC/Copilot+ PCに入れ替えておこうという企業が増えているのだと思います。

編集部:なるほど、今はAI活用についてプランがなくても、来年、再来年には使っている可能性が高いですね。逆に、次世代AI PC/Copilot+ PCを今すぐに導入したメリットはどの程度あるのでしょうか？

HP岡氏:実はAIを活用したアプリケーションは既に私たちの日常に浸透しています。最も代表的なのは皆さんも毎日使っているZoomやTeamsといったWeb会議ツールですね。これらのツールに搭載されている背景の合成や画面の自動調整といった機能の多くは、AIによって制御されています。

こうしたAI機能を使用する際、NPUを搭載していない従来のプロセッサの場合、CPUとGPUがAIの演算処理を担います。特にGPUはAI処理に優れていますが、消費電力が高いため、PCのバッテリーが早く消耗してしまうことになります。

一方、次世代AI PC (Copilot+ PC)はAI処理専用のNPUが搭載されています。NPUは低消費電力で効率的にAI演算を行えるため、GPUを使う場合と比べてバッテリーの持ちが大幅に向上します。これにより、AI機能を活用しながらも長時間のバッテリー駆動が可能になるという大きなメリットがあります。

編集部:ローカルSLM/LLMといった最新のAIソリューションの導入に備えるという意味ではもちろんですが、それ以外の部分でもメリットを享受できるのが次世代AI PC/Copilot+ PCなのですね。

次世代AI PC／Copilot+ PCの

HP最新ラインアップは？

それではHP EliteBookの最新ラインアップについて岡氏のワンポイント解説付きで紹介していこう。

HP EliteBook X G1i 14 AI PC

HP岡氏:HP EliteBookの次世代AI PC／Copilot+ PCモデルのフラッグシップとなるのが、「X」になります。今回ご用意させていただいたのは14インチ 16:10 液晶を搭載したモデルで、HP製品について詳しい方はご存知かと思いますが、Dragonflyシリーズの後継となる製品になっています。マグネシウムボディを採用しているので、軽量でありながら剛性も両立していることが特長です。

HP EliteBook 8 Flip G1i 13

EliteBook 8 G1i 13／14／16

HP岡氏:コンバーチブルデザインのモデルとノーマルモデルがラインアップしているのが、「8」シリーズになります。エンタープライズクラスの標準機といった位置づけで、ノーマルモデルについては画面サイズで13、14、16インチの中から選択できます。13、14インチはモバイル用途、16インチはデスクトップPCの代替、ペン入力が多い部署ではFlipといったように部署やワークスタイルの違いに合わせた各種モデルがそろっているので、適材適所で業務効率化と生産性向上が狙える製品です。

HP EliteBook 6 G1i 13／14／16

HP岡氏:こちらはミッドレンジモデルとなる「6」シリーズです。8と同じく、画面サイズによって13、14、16インチから選ぶことができ

ます。コストパフォーマンスを追求したモデルで、上位モデルに引けをとらない機能を持たせつつ、コストを抑えている点が特長です。

HP岡氏:シリーズを通して言えることですが、Web会議を快適にするPolyのサウンドテクノロジーや、セキュリティを高めるHP Wolf Securityをはじめとしたソフトウェアと機能の数々、PC管理用のAIツールとしてダウンロードができるHP AI Companionなど、法人モデルとして安心してお使いいただける品質とセキュリティを持たせています。なるべく多くの企業の皆さまが無理なくご導入いただけるように、幅広いニーズにお応えできるラインアップをご用意しました。今から将来に備える意味でも、ぜひご検討いただきたいと思います。



EliteBook X G1i 14 AI PC



HP EliteBook 8 Flip G1i 13



EliteBook 8 G1i 14



EliteBook 8 G1i 13



EliteBook 8 G1i 16



EliteBook 6 G1i 13



EliteBook 6 G1i 14



EliteBook 6 G1i 16

インテル® Core™ Ultra プロセッサー (シリーズ2)とは?

インテルが発表したNPUを持ったプロセッサの第2世代にあたる製品群が「インテル® Core™ Ultra プロセッサ (シリーズ 2)」となっている。このプロセッサには、CPUとGPU、NPUの3つのプロセッシングユニットが搭載されているが、AI演算時にはNPUを中心にCPUとGPUを含めてバランス良く演算が振り分けられる。前モデルと比較し、大幅にパフォーマンスが向上しており、NPU単体におけるAI演算能力は最大で48 TOPSとなっている。これにより、NPU単体でMicrosoftが提唱する「Copilot+ PC」の必要要件をクリアしている。パフォーマンスはもちろんだが、圧倒的なエネルギー効率の見直しにより、長時間バッテリーを実現している点も大きな特長となっている。



HPの人気ソリューションに
対応している？

編集部:最後にラインアップが充実したHPの次世代AI PC (Copilot+ PC)はデータ通信が5年間使い放題となる「HP eSIM Connect」と、電源オフのときも「探す」、「PCをロック」する、「データを消去」といった管理項目をリモート環境から命令できる「HP Protect and Trace with Wolf Connect」に対応しているのか教えてください。

HP岡氏:ほとんどのシリーズで「HP eSIM Connect」「HP Protect and Trace with Wolf Connect」対応モデルをご

用意しています。ユーザーにとっては「HP eSIM Connect」が非常に魅力的だと思います。スリープ状態からPCを開けば、どこにいてもすぐにデータ量無制限で利用できる、とても快適だと思います。

Windows 11に標準搭載されたクラウドAI「Copilot」を使おうと思えば、ネットワークアクセスは必須です。最近ではドキュメントの制作にCopilotを利用する方も増えていると思います。そうなると作業効率と生産性向上のためにも、ネットワークには常に繋がってほしいはずですからね。

また、モバイル環境での通信にはさ

さまざまな方法がありますが、HP eSIM Connectは本体価格のみで追加料金が不要となります。HP eSIM Connect非搭載モデルとの価格差は5万円程度なので、長期的なランニングコストにおいて大きな差が生まれます。特に、通信コストを重視する企業にとってはコストメリットが非常に大きく、導入価値の高い選択肢と言えるでしょう。ぜひ積極的に活用していただきたいサービスです。

編集部：次期入れ替え時にはHPの次世代AI PC／Copilot+ PCとHP eSIM Connectについて要検討ですね。本日はありがとうございました。

次世代の AI 体験を実現するために設計された高効率プロセッサー ▶▶▶▶ インテル® Core™ Ultra プロセッサー (シリーズ2)



ビジネスシーンを支える インテル® Core™ Ultra プロセッサー

インテル® Core™ Ultra プロセッサーシリーズはCPU、NPU、GPUを単一のパッケージに統合。コラボレーション、生産性、および創造性を強化し、パフォーマンスと電力効率の最適なバランスを提供します。

次世代の AI 体験を実現するために設計された高効率プロセッサー インテル® Core™ Ultra プロセッサー (シリーズ2)

次世代AI体験を実現するために構築された高効率プロセッサーです。
最新世代のP-coreおよび低消費電力E-coreのアーキテクチャー、強化されたNPU AIエンジン、新しいXe2アーキテクチャーにより駆動する内蔵インテル® Arc™ グラフィックスを内蔵。



最大120 TOPSのAI処理性能

Copilot+ PCの要件に準拠したNPUを搭載。
AI演算処理能力は最大120 TOPSを提供します。
(GPU:最大67 TOPS、NPU:最大48 TOPS、CPU:最大5 TOPS)



革新的な電力効率

インテル® スレッド・ディレクターにより、消費電力が最適化されます。
低電力のEコアからタスクを処理し、必要に応じてPコアを使用するよう自動で処理するコアを動的に判断します。

インテル® スレッド・ディレクター

高性能な P コアと高効率な E コアに割り当てるタスクを自動
判別する機能。パフォーマンスと省電力性能の向上を実現します。

各 CPU での処理状況をナノ秒単位の素早さでチェック

どの CPU を使えば最適で最大の能力が出せるか OS に情報を流す

アプリケーションの動作状況に応じて
使用するCPU を素早く切り替え負荷を減らす

次世代規格Wi-Fi 7に対応

Wi-Fi 7の機能は高速化のみならず、応答性と信頼性も劇的に向上し、
臨場感あるユーザー体験を提供します。
大容量データのダウンロードやオンライン会議などビジネスに
欠かせないワイヤレスネットワークも進化しました。



インテル® Core™ Ultra プロセッサ(シリーズ2) 搭載モデル

HP EliteBook X G1i 14 AI PC

AIの新時代に向けた設計パフォーマンスと携帯性を備えた次世代 AI PC



Copilot+PC

ディスプレイ

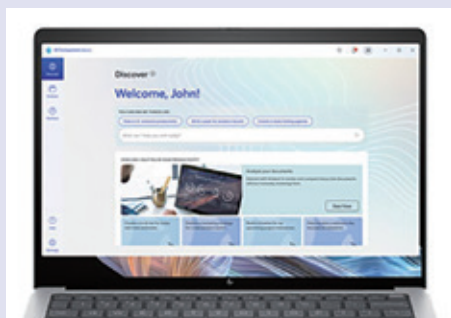
14inch(16:10) WUXGA

質量

約1.19kg



製品特長



HP AI Companion

HP AI Companionは、パーソナライズされたアシスタントとして、AIを活用しながら学習して成長していきます。効率と資産性が向上するAIを駆使したさまざまなツールや機能を搭載し、AIを活用して、日常の作業のレベルを高めます。

のぞき見検知機能付き 内蔵プライバシースクリーン

背後にのぞき見する人が検出されると、PCが通知を行い、内蔵プライバシースクリーンが自動的に起動してのぞき見を防止します。画面はユーザーにとって読みやすい状態を保つほか、のぞき見する人が離れると自動でオフになります。

※一部モデルのみ



ビジネスを加速する軽量デバイス

薄型・軽量設計により、どこへでも自由自在に持ち運べるスマートデバイス。洗練されたデザインと高い機動性を備え、場所を選ばない快適な作業環境で、ビジネスの生産性を最大限に高めます。

インテル® Core™ Ultra プロセッサ（シリーズ 2）搭載モデル

HP EliteBook 8 G1i 14/16

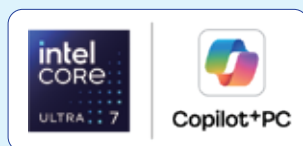
PC の選択基準を再創造する

HP EliteBook 8 G1i 14

ディスプレイ 14inch(16:10) WUXGA 質量 約1.46kg

HP EliteBook 8 G1i 16

ディスプレイ 16inch(16:10) WUXGA 質量 約1.77kg



製品特長

Copilot+ PC

CPUが40 TOPS以上のNPUを内蔵などの基準をクリアしたCopilot+ PCです。Microsoft Copilot にワンタッチでアクセスできる専用キーを搭載。プロンプトウィンドウが開き、AIアシスタントがすぐに使えるようになります。



光の映り込みがなく表示範囲が広い

映り込みが少ない非光沢ディスプレイを採用。画面占有率が高く、広い表示範囲を実現するスリムベゼル。目の前のコンテンツに集中できることで生産性と効率性を高めます。

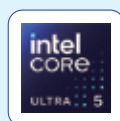


HP EliteBook 6 G1i 14

AI の利活用で生産性を高める

HP EliteBook 6 G1i 14

ディスプレイ 14inch(16:10) WUXGA 質量 約1.40kg



製品特長

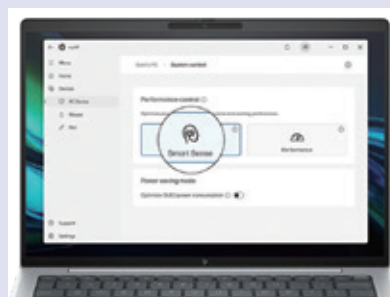
薄型ながら、豊富なポート類を搭載

さまざまな周辺機器をサポートするSuperSpeed USB Type-A 2つに加えThunderbolt™ 4 (USB4 Type-C) も搭載。外部モニターやプロジェクターと接続できるHDMI出力端子などビジネスに必要なインターフェースを標準で搭載しています。



AIを使ってノートPCの使用パターンを学習

HP Smart Sense（スマートセンス）は、AIを使ってノートPCの使用パターンを学習し、適応させることで、ノートPCの熱性能を最適化します。その結果、作業に必要な電力を供給しながら快適に作業できる、より静かで低温なノートPCが実現します。



HP eSIM Connect

法人様限定! 5年間データ通信上限なしで使い放題 au回線を利用した法人向けMVNOサービス

HP eSIM Connect 対応モデルは、HP の法人向けノートPC (4G LTE、5G モデル) に
データ通信上限なしのeSIM サービスを組み合わせることで、いつでもどこでも働く環境を提供。

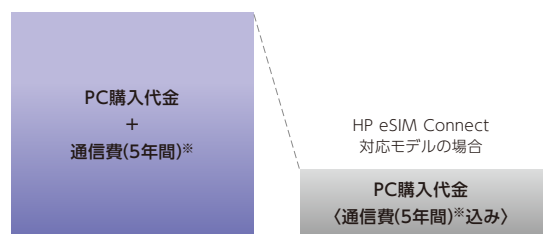
HP eSIM Connectなら!

- 5年間データ通信使い放題でコスト削減!
- eSIMなので、紛失リスク無しで管理も不要!
- eSIMなので、回線開通手続きや設定が簡単!
- 高品質でカバーエリアが広いau回線!
- 常時接続だからWeb会議や端末管理がスムーズ!
- MVNOサービスだから、
PCと通信のサポートがワンストップ!

(例)1台あたりの総費用イメージ

HP EliteBook 6 G1i 14 4G LTE-HP eSIM Connect 対応モデル
5年間の参考価格

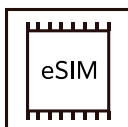
PC+通常のデータ通信契約の場合



合計金額 約63万円

合計金額 約21万円

*国内通信キャリアの平均的なデータ通信をもとに算出 2025年10月現在、日本HP調べ



eSIM対応機器

PC本体にWWANモジュールが
組み込まれているモデル



安定した回線

HPがMVNO業者となりサービス
を提供します (auネットワーク)

一部HP法人ノートPCの
LTE / 5G通信モジュール
搭載モデル



5年間のデータ量無制限
auネットワーク通信サービス
利用権 (法人限定)



HP eSIM Connect

HP eSIM Connect 対応モデル

HP EliteBook 6 G1i 14



HP EliteBook X G1i 14 AI PC



HP EliteBook 8 G1i 14

HP EliteBook 8 G1i 13



HP EliteBook 8 Flip G1i 13

※その他の対応モデルはお問い合わせください。

HP eSIM Connectの詳細はこちら

https://hp-bpplatinum.com/hp_promotion_2501/

